工藤 保雄議員

草原管理の今後は

意見を取りまとめ

方向性を示す

機を迎えてい 状である。 の草原は、 るの

後10年の間に野焼きを

牧野組合の

約6割が今

昭和47年に旧

実施できなくなると回

まで広大な原野の火入 第5駐在区は、 车

が重 きている この作業が非常に危険 に最も重要なことは、 おいて重大な事故が起 なものであり、 れる等、 いる原 までの なっており、 道路 野 様々な悪条件 P が寸断さ 過去に 入れ

の減少、

しかし近年、

有畜農家

化により

野焼きに従事 高齢化や過疎

する住民が減少し、

広

大な原野を守り続ける

ために、

実施してきた

を放牧地及び採草地と

は、

原野

上藤議員 原野火入れ

年は区長

や公民

館

0

各地域

Ó

代表者や

関

係

住民の方々と数

機関の意見をとりまと

今後の野焼きの

方

性を示したい

しての機能を維持する

原野火入れ の実態は

ことが

困難な状況に

なっている。

震災によ

り壊滅的な被害を受け

件が重なり、 地 害により、 団体が例年実施してき 入れを断念されている 域が11団体ある。 震災前は、 同年61 しかし、 様々な悪条 月 熊本地 今春の火 の豪雨被 37 の申 震 請

歴史に支えられた世界 が発生しており、 に誇れる遺産である阿 故も含め、 近年は死亡事 大きな事故 存続の危 長い が現

答している。

野焼きの

を実施していたが ることが重要である。 が急務であ 方向性を検討すること

継続す

元は要望してきた。

阿蘇公園

ンロード沿いで、 決めた場所は、 れ らすという決断がなさ 実施面積を約半分に減 0 世界ジオパーク、 心配がある。 た。この焼かないと にわたる協議を重ね グリー 世

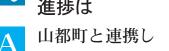
合性や、 焼きが行われる。 村と住民が一体となっ り区長責任を再検討し 請書によって区長が申 界農業遺産認定との た草原管理 村長が許可 火入れ許可 が必要では つま U 野 申 整

阿蘇郡市等、 はそれらの認定の重要 界農業遺産、 な要件となっている。 世界ジオパーク、 草原維持 1 5 0 の 世

矢部阿蘇公園線の 進捗は



山都町と連携し 要望活動に努める



が重要ではないか。

工藤議員

和5年矢部阿蘇公園線 約40年間にわたり矢部 成会が結成されて以来 旧矢部町に地元期 一線の整備を地 久木 昭 野 費が計上され、 設を結ぶ広域的なル としての観点、 託業務を実施中。 いて50 29年度、 震を踏まえ、 0 万円の調 熊本県にお 現在委 拠点施 避難路 熊本

整備! 出がなされてきた。 県議会への要望書の 促 進 同盟会が設 県知事 提 B <u>7</u>

野焼きによる草原管理 アクセスも可能になる。 州自動車道延岡線への ことができ、 の観光振興に寄与する だけでなく、 を往復する観光ルート この道路の整備によ 従来の熊本と阿蘇 災害時の さらに九 地域全体 代替

変有効である。 災性向上のためにも大 ワークの構築による防 のある道路ネット

の進捗状況は。 査が実施されたが、 平成29年度、 せて関係者 県の 丸と そ 調

た強力な要望活動 查

月には、 既存道路 る山都町としっかり 進期成同盟会と隣接 重要と考える。 公園線の役割は非常に 要望活動が行われた。 には熊本県に対して、 換会が開催され、 備促進に関する意見交 蘇村の両議会による整 となっている。 7 • 8 km 査が行われている。 卜 項目として、 村としても矢部阿蘇 コス Ш が未開通区間 1 都町、 削 の活用を検 整備促 昨年4 現在 南阿 による 12 連 す 月 調

望活動に努めたい の早期開通に向けた要 携を図り、 未開通区間 要望書を提出する両首長